

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009函第79号
事故等種類	転覆
発生日時	平成21年12月5日 12時35分ごろ
発生場所	北海道 <small>しままき</small> 島牧村 <small>ちろせ</small> 千走漁港の西方4,500m付近 (概位 北緯42°41.2′ 東経139°56.7′)
事故等調査の経過	平成21年12月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 第230 <small>いそ</small> 磯丸、0.3トン
船舶番号、船舶所有者等	HK3-117955（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	軽傷1人
損傷	船外機濡損
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、千走漁港の西方の船揚場に帰航するため、海岸線の約150m北方沖を低速で東進中、平成21年12月5日12時35分ごろ、千走漁港の西方4,500m付近で、南からの強い風と高波のため、右舷船首方から船内に連続して波が打ち込んで左舷側に大きく傾斜し、そのまま転覆した。</p> <p>救命胴衣を着用していた船長は、転覆により海に投げ出されたものの、自力で本船にたどり着き、船体につかまっていたところ、事故発生場所付近の陸岸で事故を目撃した漁船員が漁業協同組合に通報し、漁業協同組合から要請を受けた僚船により、13時10分ごろ救助され、病院に搬送された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 雨混じりの雪、風 強い南風、視界 良好</p> <p>海象：波向 南、波高 高い</p> <p>特記事項：強風波浪注意報発表中</p>
その他の事項	<p>船長は、出航前に気象予報を確認し、風向が南東という予報だったため、事故発生場所付近は風の影響を受けることはないものと思い込んでいた。</p> <p>本船出航時、事故発生場所付近の、気象及び海象は穏やかであったが、10時ごろから風と波が強まっていた。</p> <p>本船が操業していた漁場は、風の影響を受けることが少ない海域であったため、操業中、気象及び海象が悪化することはなかった。</p> <p>船長は、通信手段として携帯電話を所持していたが、出航後に気象情報を確認することはなかった。</p>

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、千走漁港西方沖を東進中、強風により、高波が連続して船内に打ち込んだため、復原力が減少して転覆した可能性があると考えられる。 船長は、漁場発進後、事故発生場所付近に達するまで、気象・海象が悪化していることに気付かなかった可能性があると考えられる。 船長は、本船が操業していた漁場が、風の影響を受けることが少ない海域であったこと、及び所持していた携帯電話を使用して気象情報を入手しなかったことが関与して、事故発生場所付近に達するまで、南からの風波により気象及び海象が悪化していることに気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、千走漁港西方沖を東進中、高波が連続して船内に打ち込んだため、復原力が減少して転覆したことにより発生した可能性があると考えられる。	